

令和5年度（2023年度）版

地域の魅力や居場所など
西部地区の多賀城の今がわかります

多賀城市“西部版”地域カルテ



～ 目 次 ～

1. 地域カルテの目的と活用方法 (P 3)
2. 新田地区 (P 8)
3. 高橋地区 (P 1 8)
4. 山王地区 (P 2 8)
5. 南宮地区 (P 3 4)
6. 市川地区 (P 4 0)
7. 浮島地区 (P 4 6)
8. 城南地区 (P 5 2)
9. 学校運営協議会制度 (P 5 8)
(コミュニティ・スクール)
地域学校協働本部 (P 5 8)
- 1 0 . 多賀城市立山王小学校の紹介 (P 6 0)
- 1 1 . 多賀城市立城南小学校の紹介 (P 6 2)
- 1 2 . 多賀城市立第二中学校の紹介 (P 6 3)
- 1 3 . 西部地区の“集まり^{どころ}処”一覧 (P 6 4)



高橋地区 『サンデーモーニングカフェの様子』



山王地区
『山王自治会防災訓練におけるフレッシュレディ
と子供会の皆さん』

地域カルテの目的と活用方法

高齢化や少子化で大変だといわれているけど、それって一部の地域の問題ではないの？

地域課題の解決には、市民もかかわることが必要といわれるけど、それって本当は行政の仕事ではないの？

地域課題を解決するために、ほかの地域でやっていることをマネしてもうまくいかないのは为什么呢？



1 地域の現状と課題

私たちが暮らす地域社会は、人口減少が進み、高齢の方が増加しています。さらに、高齢者世帯を中心に単身世帯が多くを占めるようになり、さまざまな生活課題を生むようになってきました。

例えば・・・日常生活で困りごとが増えた一人暮らし高齢者、認知症の高齢者を障害がある家族が支えている世帯、複合的な生活課題を抱えた家族や、その家計を支えるために仕事をしながら介護もしなければならない家族など、様々な状況がひろがっています。

これらの課題に対応していくためには、福祉や介護の制度・サービスをさらに充実することもひとつの解決策です。それと同時に、市民主体の地域活動及び地域福祉活動が重要になってきます。

それは、課題を抱えた人々に対する日常的で具体的な支援を市民が担うということに留まらず、地域に暮らすできるだけ多くの市民が自分たちの地域の課題を知り、その現状を地域に発信し、そして自らも解決に向けた取組に関わることです。

しかし、近年、町内会・自治会などの活動に参加する人が少なくなり、安定継続した地域づくりが難しくなっています。

その一方で、災害時には多くのボランティアが活躍したり、興味や関心と同じくする仲間が集まるサロン（拠り所）の活動は活発に行われたりしています。

このことから、これからは、町内会・自治会の活動とボランティア活動などが相互に協力することなど、多様な地域活動の展開が求められています。



2 「地域カルテ」の目的と活用法

各地区の地域活動、それに連なる地域福祉を進めるため、多賀城市では、地域づくり事業 地域カルテ作成に関係部署・機関（市保健福祉部社会福祉課、市総務部地域コミュニティ課及び市社会福祉協議会）と連携のもと取り組むこととしました。

この地域カルテは、地域に出向いて、地区の様々な方との話し合い(地域ヒアリング)を通じて、地域の状況を記録(カルテ)するものです。

地域カルテは、令和4年度(2022年度)から西部地区から地域カルテの作成をスタートしたものです。

この地域カルテ(地域ヒアリング)の目的は、

①地域の魅力、課題の共有

②居場所(子ども～シニア世代)・・・「プラットフォーム」の見える化

③地域活性化の3点が主なものです。

ポイントは、福祉サイドの視点だけでなく、子育て、教育、まちづくり、防災など複眼的な視点のカルテづくりに取り組むこととし、作成過程のプロセス(町内会及び関係機関等との話し合い)を重視しています。

この地域カルテは、その地区・地域に関わる情報を地域単位ごとに、整理・掲載したものです。



この地域カルテの活用については、

- ①地区の日頃における助け合い、支え合い及び見守りについて、他の地区の活動を参考とする場合
- ②地域の困っている方に支援を行おうとする際に、地域のサロン活動等を把握し、適切な支援につなげる場合
- ③各地区の地域資源（町内会、学校及び各種活動等）を把握し、支援につなげる場合（例 こども食堂の運営支援として食料品、日用品等を提供する）
- ④地域のコミュニティのため、他の地区ではどのようなイベントを開催しているか参考とする場合
- ⑤災害時の対応について、他の地区の活動を参考にする場合

そのほか、様々な場面での活用が考えられます。

今後は、令和6年度に東部地区の地域カルテ作成を展開し、西部地区、中央地区は引き続き話し合いを通じながら、毎年データを更新（メンテナンス）します。





新田地区
『備え～る新田(となりぐみ)に参加した皆さん』



浮島地区 『敬老会の様子』



新田地区

地域カルテ

多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724 ▶ 2024

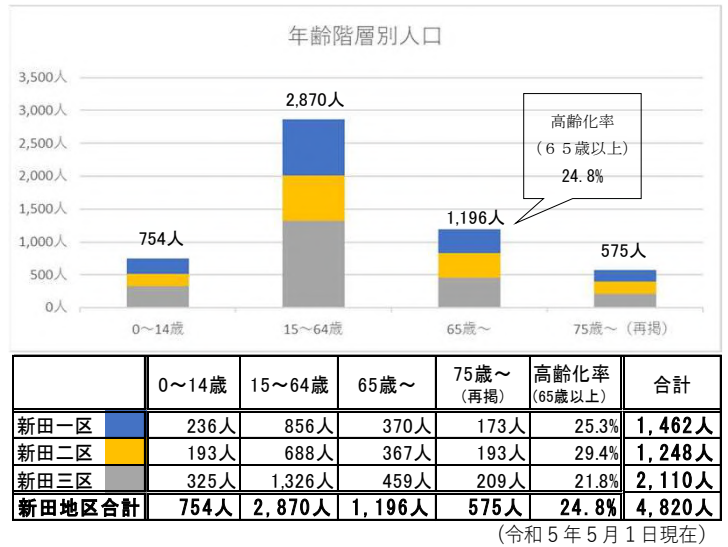
新田地区

新田地区は本市西部に位置し、仙台市と接しています。JR仙石線中野栄駅、JR東北本線、岩切駅にほど近いことから宅地化が進み、特に新田地区の北部ではその動きが顕著です。その一方で、新田の東部から高橋の北部に広がる低地は市内でも有数な農地として利用されています。

【参考: 令和3年度資料展 地域の文化財から引用】



桜の花見やウォーキングにも最適な七北田川沿い



【新田地区の強みと気になるところ】

【新田地区共通の強み】

役員さん、班長さんの団結力！

- ・若い世代も高齢世代もお互い尊重しあっています
- ・和気あいあいと誰もが意見を言いやすい雰囲気がある

七北田川がある

- ・水質が良く自然豊かなので、季節ごとに野鳥の姿が楽しめる
- ・川のせせらぎを聞きながらのウォーキングに最適！
- ・春は土手沿いの桜並木がとても綺麗！



↓各地区で出た強み↓

新田二区

静かで住環境が良い
経験豊かな方が多く、安心して子育てができた



自慢じゃ!



新田三区

最近宅地化が進み、若い世代が多くなってきている
JR東北本線岩切駅が近く、多賀城市側から駅に行ける南口ができたので更に利便が良くなった

【新田地区の気になるところ】

新田二区

市中心部へのアクセスが悪い
コミュニティバスも使いにくい・・・
せめて1時間に1便は運行してほしい

コロナ禍で子ども会の力が弱くなってしまった。
子ども会を抜きたい、入りたくないという意見も多く約3割の世帯が加入していない



市役所に行きたいけど
アシがないよ
困ったね~



新田三区

七北田川の土手沿いは地域の自慢スポット!
でも、沿道や広場の雑草の多さが気になる・・・

新田地区を含め、西部地区は市の施設が少ない
図書館や文化センター、市民活動サポートセンターなどへ行くにも
アクセスが悪く一苦労・・・

新田三区だけの集会所がないので、大人数で集まれる場所がない。
集会所の建設に向けて立地地権者や不動産会社と交渉中

【新田地区の自慢の行事】

【夏祭り】

新田一区、二区は合同で開催、
新田三区は子ども主体の夏祭りを
開催。
住民の交流の場となっています！



28' 新田一・二区夏祭り



婦人会、子供会、興農組合や
福祉工房のぞみ園など、様々な人達の
積極的な協力があるよ！

夏祭りの様子(新田三区)



防災グッズ発表会の様子



災害時もっとも必要とする避難用品発表結果 参加者20名

1 懐中電灯 (停電時の備え、夜間の移動用)	5名
2 笛 (居場所を伝えるときに使用)	3名
3 スマートホン (連絡手段・安否確認・情報の収集)	5名
4 救急セット(ばんそうこ・包帯・消毒液等) (応急処置)	4名
5 ウエットティッシュ (体をふいて清潔にする)	2名
6 非常用持ち出しセット (リュックに入れておく)	3名
7 チョコレート・あめ等 (すぐに食べられる)	2名
8 ライター (寒いとき火をたくときに使用)	2名
9 ろうそく (夜に明り取りで使用)	2名
10 アルコールジェル (衛生対策)	1名

発表重複 29件

防災グッズ発表会は
災害時の備えについて
考えるきっかけになって
いるんだよ



【防災訓練後の豚汁配布】

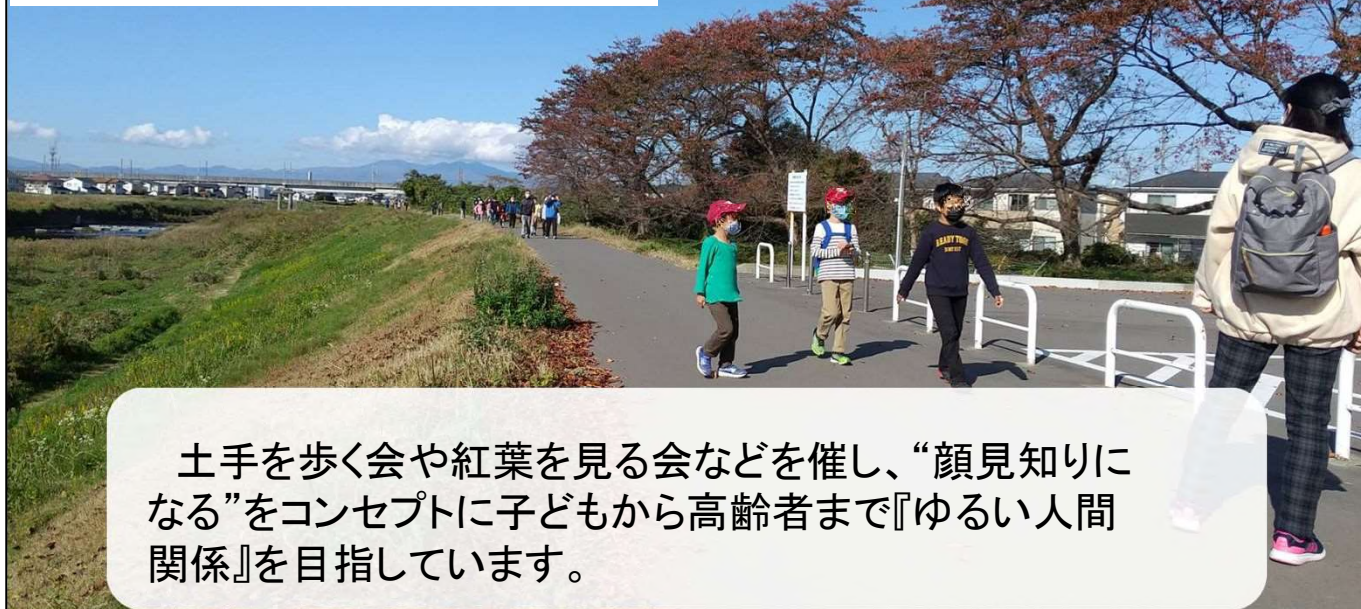
新田三区では、防災訓練後に
PTAや子供会などの協力のもと、
豚汁作りをして参加者に
配っています。



【新田地区の絆を深める事業】

【新田全地区】

備え～る新田(となりぐみ)



土手を歩く会や紅葉を見る会などを催し、“顔見知りになる”をコンセプトに子どもから高齢者まで『ゆるい人間関係』を目指しています。



R01. 10. 06

釜石鉄の歴史博物館

新田二区研修旅行

【新田二区】

二区研修旅行

普段は交流の少ない町内会会員同士の交流の場になっています。



【新田三区】

ラジオ体操と公園の草取り

子供会が中心となって夏休みに入った子供たちはラジオ体操に取り組みました。ラジオ体操後はいつも遊ぶ公園の草取りを一生懸命に行いました！

【新田地区の支え合い・助け合い活動】



【新田二区】

3区連合興農組合の活動
～山王小通学路の草刈り～

【新田二区】

3区連合興農組合の活動
～七北田川沿いの草刈り～



【新田三区】



地区内パトロール活動

新田三区の防犯見守りは地域を4グループ『A・B・C・D』地区に区分けをして集合場所、集合時間、見回り日を4グループが毎月、2回入れ替えをしながら班長・役員がごみ等が散見されれば拾いながら見回り活動をしています。

令和5年度からは、自分が担当する見回りルート以外も知っておく必要があるとの思いから、3ヶ月に1回合同パトロールを始めました。

【新田地区の災害発生状況や自主防災組織の活動状況】

新田二区



大雨が降ると新田字西の一部で冠水するところがある

堀の流れが悪く、大雨が降ると雨水が滞留するため、大雨の際は別ゲートを開け、田の方へ流すようにしている

防災対策担当役員を中心に、市総合防災訓練に合わせて訓練を実施している。なお、中学生にはテント張りの手伝いをしてもらい、関わりを持つようにしている。

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

市総合防災訓練に伴い、班長に開示している

町内会役員に開示をしているものの、名簿を活用した見守りなどの取り組みはしていない

新田三区

市総合防災訓練に合わせた訓練の実施
(若い班長も率先して訓練の運営に携わってくれている)

七北田川が決壊した場合、地区内には高い建物が無いので逃げ場がない

あわせて、その場合に高齢者や要支援者をどのように助けるかが課題となっている



【避難行動要支援者名簿の活用状況】

名簿登録者で希望する方には災害時の安否確認として、黄色い旗を渡し、異常がなければ掲げてもらう取り組みをしている

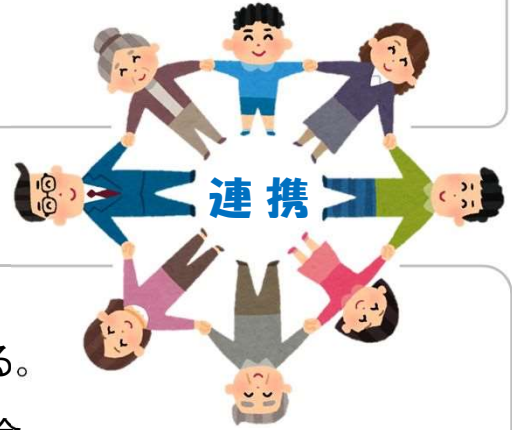
住宅地図上に避難行動要支援者名簿登録者を落とし込み、役員内で共有している

【新田地区での協力体制や連携状況】

(1) 町内会の協力体制

新田二区

連携は上手くいっている。
役員が高齢化してきているのが心配。



新田三区

連携は十分にできており、団結力もある。

地区役員は民生委員・児童委員、子供会、PTA地区長を含めた構成としている。



役員会や班長会を年5～6回行いながら連携を図っている。
毎回9割以上が参加しているので、情報共有や意見の吸い上げもできている。

役員同士、LINEを活用し情報を共有している。

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

新田二区

コロナ禍のため、夏祭り等の行事が軒並み中止になっているので、声を掛けるタイミングがなかなか見つからない。

夏祭りを再開するときに、子ども会を通してお父さん、お母さんに協力してもらえよう働きかけをしてみようと思っている。

新田三区

市民スポーツ大会への参加などをきっかけに、無理なく巻き込んでいる。

多くの若い班長が地区運営に関わっている。積極的な提案とスピーディーな判断力があり頼りになる。将来を見据えて関係性を大事にしていきたい。



【新田地区のトピックス】



地区内のパトロールは役員や班長で構成し、4班集体制で活動しています。

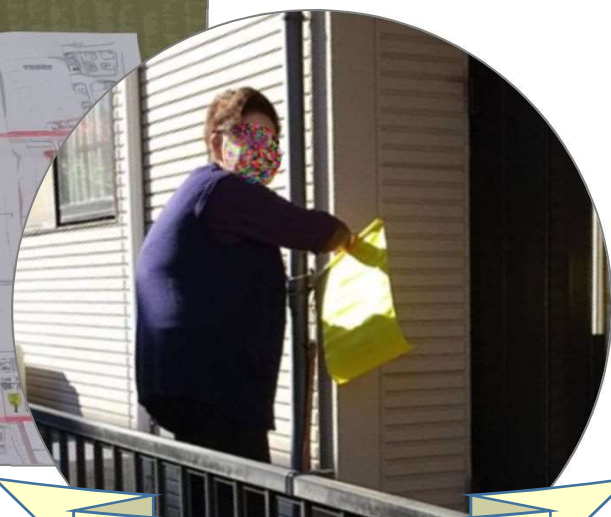
任意の活動なので強制はしていません。各班、曜日や時間を変えながら、見回りやごみ拾いを行っています。この活動により、班員同士が顔見知りになり、良い効果が出ており、令和5年度からは合同パトロールも始めました。

この取り組み以外にも、避難行動要支援者名簿を活用し、災害時に速やかに安否確認できるように黄色い旗を掲げてもらう取り組みや、住宅地図上に要援護者を落とし込んで役員内で共有し、常日頃から気に掛けつつ災害に備えています。

これらの取り組みから、地域の団結力が垣間見えます。



要援護者を 落とし込んだ地図



黄色い旗を掲げる 住民さん

※地域カルテ【新田地区】は新田二区、新田三区の皆さんを中心に地区の状況などを伺い作成しました。

新田地区 備え～る新田と、土手歩き

新田地区のとなりぐみでは、「自分たちの暮らしている地域を考えた時、防災をテーマに、地域の中の人と人とのつながり作りをしたい。」と考えました。これまで何十年にわたって、七北田川の氾濫に備えて暮らしてきたからです。防災訓練などは自治会で行うので、となりぐみでは、もっと身近なことをしてみたいと考え、災害時に役に立つ「サバ飯」作りをしながら、地域の住民同士が交流出来る場を開催しています。

コロナ禍、備え～る新田が開催出来なくなり、その代替りとして、となりぐみのメンバー達は、「普段から、地域の住民がつながっていれば、いざという時にも助け合える。」と考え、地域の住民と、新田の土手散歩や、紅葉狩りをするようになりました。



サバ飯作り



紅葉狩り(集合写真)



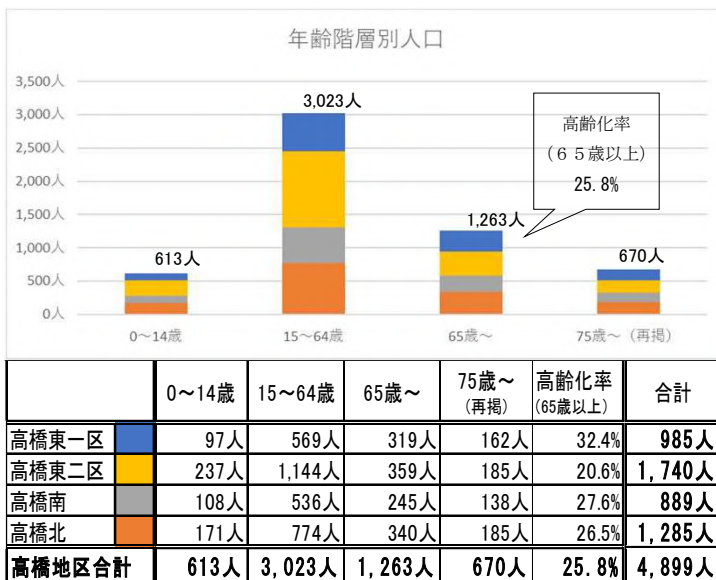
多賀城創建記念

TAGAJO 1300th Anniversary
724 ▶ 2024

高橋地区

高橋地区は本市西部に位置し、仙台市と接しています。JR仙石線中野栄駅にほど近いことから宅地化が進み、特に高橋地区の南部ではその動きが顕著です。その一方で、新田の東部から高橋の北部に広がる低地は農地として利用されています。

【参考: 令和3年度資料展 地域の文化財から引用】



(令和5年5月1日現在)

【高橋地区の強みと気になるところ】

【高橋地区共通の強み】

高橋4地区の繋がりが強く、運営や行事など協力しながら行っている

もともと1つの地区だったから
地区同士仲が良いよ♪

商業、クリニック、福祉等の施設が充実している

土地が平坦で暮らしやすい

交通の便が良い

仙石線中野栄駅、東北本線陸前山王駅、
仙台市営バス



↓各地区で出た強み↓

高橋北区

空地だったところに家が建ち始め、若い世代が転入してきたので、子供が多くなった

高橋南区

高齢者は多いが、見方を変えれば生き抜く知恵が豊富な「人生の経験者」が多く心強い！

高橋東一区

高橋北区、高橋南区と同じ意見

自慢じゃ！



高橋東二区

事業所と協力し合い、資金面で豊かになり色々な活動ができる
町内会新聞や町内会ブログで地域の情報を発信している
県内初の町内会公式LINEがあるので、「お友達登録」して頂くとリアルタイムに情報を知ることが出来る
高圧線下の緑道や公園はいつも手入れされており綺麗
水族館入館料や野球観戦料などの補助制度がある
子供が多い

【高橋地区の気になるところ】

高橋北区

高台がないので水害時の逃げ場がない
前からの住民と新たに転入してきた住民が馴染みにくい雰囲気があるかも・・
町内会役員の後継者不足
さんみらい多賀城イベントプラザ(STEP)の利用料が高く使いづらい

高橋南区

鉄道の駅が遠い
仙台市バスは便利だが仙台市民ではないので助成が適用されず運賃が高い
子供が少なく、地域で子供の声が聞こえない

悩みは各地区
それぞれのね・・・
なるほど



高橋東一区

高齢者が増え、人口割合が高くなったため、共助の必要性が高まっている
(反面、地域コミュニティが充実する可能性を秘めている！)

高橋東二区

集合住宅が多く { ・ごみ集積所の清掃が行き届かない
・班長の成り手がなかなか見つからない
町内会役員の後継者不足
津波被害があった東二区と他地区の間に温度差を感じる
地区外の人 { ・ごみを捨てて行く ・野菜を盗む
問題行動 { ・公園のバリアフリートイレに住みつく
地区内の同じようなところで交通事故が相次いだので、横断歩道を設けたい

【高橋地区の自慢の行事・絆を深める事業】

【高橋4区合同夏祭り】



老若男女問わず
多くの区民が参加し大盛況！
地元商店や仙台育英高校の協力も
あり地域活性化に繋がっています。
縁起物である「お神輿」と「こども神
輿」が町内を練り歩きます。

市内で一番の
賑わいなんじゃ
ないかの～



【サンデーモーニングカフェ】

若い世代も多く参加する
世代間交流の場！
爽やかな日曜の朝を
楽しく過ごしています！



ここがきっかけで
色んな人と出会えるんです



【味噌づくり体験教室】

みそらの郷さんの協力をもらい、
自家製味噌づくり！
味噌づくり体験を通して
地域コミュニティが育まれます！

他にも
高橋4区合同文化祭、グラウンドゴルフ大会、
高齢者を対象にした「笑学校一年三組」など、
コミュニティ活動に取り組んでいます



【高橋地区の支え合い・助け合い活動】



【ご近所大工の会】

高橋地区に住む大工仕事が得意な方達が、ひとり暮らしのおばあちゃんの家引き戸の調整など、簡単な修繕を行いながら地域のつながりづくりをしています。



【ついでにだすどー】

玄関前に出された高齢者宅や障害者宅などのごみを、自分のごみと一緒に集積所へ出す支え合い活動です。

【なかっざいカフェ】

地区以外の方も参加ができます。障害のある方も参加しており、居場所であり活躍できる場所にもなっています。高橋4地区にとって大事な集いの場です。





【高橋地区の災害発生状況や

高橋北区

台風やゲリラ豪雨の時に水害に遭う恐れがある

多賀城市総合防災訓練に合わせた町内訓練を実施している

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

担当役員が近隣高齢者(1人暮らし世帯)に対し、安否確認等のサポート体制をとっている

近所同士で助け合える仕組みがあれば良いが、具体的な話は進んでいない

高橋南区

自主防災組織は町内会役員と班長で構成している

コロナ前は高橋4区で合同防災訓練を実施していたが、コロナ禍の現在は高橋南区役員のみで訓練を実施している

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

役員に要援護者の担当を割り振っており、大規模災害時には安否確認をすることになっているが、徹底されている状況ではない

高橋4区合同で防災訓練を実施したいけど…

新しい津波避難MAPを見ると避難所が浸水区域に入っているので避難訓練できないし…



自主防災組織の活動状況】



高橋東一区

年1回の防災活動を中心に防災訓練を実施している

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

日頃から民生委員・児童委員と連携し、要援護者との結びつきを深めている

高橋東二区

自主防災組織の活動はあまりしていない

高橋4区合同の防災訓練は必要と思っている

災害時に、仙台育英学園高校へ避難ができるよう多賀城市からも働き掛けしてほしい

【避難行動要支援者名簿の活用状況】

民生委員・児童委員が定期的に要援護者宅を訪問している



高橋は平たんな
土地ばかり…

どこに逃げれば
良いの？

【高橋地区での協力体制や連携状況】

(1) 町内会の協力体制

高橋北区

LINEで町内会長と町内会役員は連絡を取っています。



高橋南区

町内会長、町内会役員、班長間の連携はできています。

町内会長と民生委員・児童委員間の連携は出来ているものの、町内会役員と民生委員・児童委員間の連携は出来ていなくて課題になっています。



高橋東一区

コロナ前は2カ月に1回報告会を開催していましたが、コロナ禍である現在は、半年に1回程度になっています。



高橋東二区

町内会長、町内会役員、民生委員・児童委員間の連携はとても良いです。

コロナの影響により班長会議を1回しか開催できていません。そのため、班長との連携は不足がちになっています。(集合住宅では班長が不在になっているところがあります。)

若い人たちが町内会役員として参加することがしにくい雰囲気があるように感じます。

【高橋地区での協力体制や連携状況】

(2) 若い世代への働きかけの工夫や参加状況等

高橋北区

小中学校PTA役員と一緒に夏祭りの運営を行い、交流を図っています。



高橋南区

特に意識した働き掛けはしていないが、市民スポーツ大会や高橋4区の合同行事(夏祭りやモーニングカフェ等)に若い人達が多数参加しています。

高橋東一区

スポーツ大会や公園清掃の参加を積極的に呼び掛けながら、つながりを深めるコミュニケーションを図っています。

高橋東二区

サンデーモーニングカフェは若い世代の参加がありますが、他の行事への参加がいまいちなどが課題です。

【高橋地区のトピックス】

高橋南区では、毎年班長が交代すると、町内会での班長の役割(広報物の配付から始まり防犯灯の維持管理など6項目)を説明しお願いしていますが、その中で災害時の対応として震度5強以上の地震や大雨等の際に、速やかに班内の状況を確認し役員に急報することとしています。

また、町内会の自主防災活動についても独自に定め、会員すべてに周知するなど、日ごろから防災の意識づくりに取り組んでいます。



高橋東二区

高橋東二区では、高橋東二区町内会新聞の発行以外にも町内会ブログと日々更新して地域の情報を積極的に発信しています。

この取り組みは町内会活動の見える化を図りながら、町内会が身近な存在であるとの理解も同時に育んでいます。



高橋4区町内会 合同夏祭りと 仙台育英学園高校とのつながり

令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが「5類感染症」へ移行しました。このことを受け高橋4区合同町内会では4年ぶりに夏祭りを開催しました。

当日は朝から『お神輿』担ぎがあり、大日堂から始まり、町内にある3つの公園を巡りながら高橋地区生活センターまで練り歩きました。『こども神輿』も巡行され、子供から大人まで威勢が良いかけ声が町内に響き渡りました。

夕方からは盆踊りが始まり、夜には大抽選会が行われ、待ちに待っていた住民がたくさん参加し笑顔でいっぱいでした。

また、この夏祭りには町内にある仙台育英学園高校の生徒や留学生にも参加を呼び掛けました。日頃から地域と学校の繋がりがあり、雪の日には町内を生徒が雪かきをしてくれます。夏祭り当日は地域にお神輿担ぎ体験や浴衣体験などがなされ、仙台育英学園高校からは獅子太鼓の披露され、住民との交流がたくさん行われました。

高橋4区 合同夏祭り



生徒の雪かきの様子



育英学園 獅子太鼓

